

周術期口腔機能管理とは

周術期における口腔機能管理は、病院内に歯科を有する施設では、地域の歯科医院を含めた診療連携により進みつつあるものの、歯科を有しない病院では大きく出遅れています。

今回、口腔機能管理の有用性や連携のポイント、問題点の解決策等についてお話し頂くとともに、医師や看護師、メディカルスタッフにもご参加頂き、診療連携を図る上での意見交換を行う場にもしたいと考えています。

【日時】 3月15日(金) 20時~21時半

【会場】 久留米シティプラザ4階・中会議室
(久留米市六ツ門8-1 TEL: 0942-36-3000)

【定員】 50名 ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

【対象】 医師・歯科医師

看護師・歯科衛生士・メディカルスタッフ ※参加費無料



久留米大学医学部歯科口腔医療センター教授

【講師】 楠川 仁悟 先生



平成24年に周術期口腔機能管理が保険収載され、がん治療をはじめ、心臓血管手術や人工関節手術など、治療医との連携の下、治療前から治療後まで一貫して包括的な口腔機能管理を行うことが求められている。その目的は、誤嚥性肺炎をはじめとした治療合併症を防ぎ、治療成績の向上やQOLの維持につながることであるが、医療費の抑制もまた大きな目的である。とくに包括医療においては、口腔機能管理により合併症を防ぎ、在院日数を短縮することは、患者のみならず病院においても大きなメリットとなる。しかしながら、ただ単に口腔ケアに終始することでは、この目的を達成することができず、文字通り「口腔機能」の管理が重要である。そのために歯科は、個々の患者の病態、治療、問題点について理解し、医療連携のもと積極的に介入し口腔機能管理を実施していくことが必要である。

参加申込

FAX: 092-473-7182 TEL: 092-473-5646

Mail: fukuoka-sk@doc-net.or.jp

3/15 口腔外科診療交流会参加申込書 氏名: _____

医療機関名: _____ 職種: _____ 参加人数 _____ 人